

自民系13人が議会人事 独断選考

自民の不公正と非民主主義うきぼり

5月議会補正予算で 決まったコロナ対策

①児童クラブ各部屋に空気清浄機 16 台	281.5 万円
②民間保育園補助 国 100 % 補助	438.9 万円
③保育園 空気清浄機 8 台	104 万円
④信用保証料補助 国県制度	9800 万円
⑤雇用調整助成金 援助	4000 万円
⑥プレミアム食事券	8300 万円
⑦幼稚園 空気清浄機 11 台	143 万円
⑧特別定額給付金 10 万円×73,300 人	73 億 7905 万円
⑨子育て世帯臨時給付金 1 人 1 万円×950 人	1 億 711 万円
⑩県自粛休業協力金 50 万円×550 事業所	2 億 9200 万円
⑪理美容店協力金 10 万円×150 事業所	1500 万円
⑫生活困窮者住宅確保 3 か月×40 人	388 万円
⑬妊婦布マスク 月 2 枚×6 カ月×370 人	22.6 万円
⑭小中学校各 2 個非接触体温計 14 個	31.7 万円
⑮就学援助受給者給食台分支給 2 カ月分 1 万円	1000 万円
⑯中部図書館 網戸修繕	37.1 万円
⑰市民図書館 網戸設置 30 万円+空気清浄機 1 台	47.2 万円
⑱水道基本料金 4 カ月分免除	1 億 3000 万円

空気清浄機 小中学校にも設置して

5月25日から小中学校が再開されます。臨時議会では保育園、幼稚園、図書館に1機13万円の空気清浄機。3月議会での日本共産党にはナンクセつけて設置を拒否。梅雨や猛暑を迎える中、効き目ありとしたなら学校にも設置して。

議会の人事こそ民主化のバロメーター
5月18日の臨時議会では、第19期市議会の人事が決まりました。
正副議長と監査委員の重要ポストは、志政会(杓名 宏会長)と碧政会(杉浦哲也会長)が「私たち13人は『自民クラブ』」と言い放ち、他の会派も巻き込んで、水面下で決定。
日本共産党には、事後報告という横暴な態度で強行しました。
日本共産党は、4年間の任期中役職は1年交代で行っており、各議員と会派の構成人数で案分し、公正な配分をすべきと求めました。
数を頼みに、勝手に役職を決める自民系議員も、選挙で同調した日本共産党以外の会派にも、議会の民主化に逆行した責任が問われます。

議長選挙の結果
山口はるみ(日本共産党) 2票
新美 交陽(碧政会) 20票
副議長選挙の結果
岡本 守正(日本共産党) 2票
山中 謙治(志政会) 20票

★ **日本共産党の新しい役職**
山口はるみ議員
経済建設委員会委員
衣浦東部広域連合議会議員
議会運営委員会委員
岡本 守正議員
福祉健康委員会委員
臨海対策特別委員会委員

※ 本会議で、積極的な対案と問題点を指摘したのは、日本共産党の2人だけでした。今後も2人で全力あげ市民のくらしを守ります。

第19期碧南市議会 議員構成 ◎=議長 ○=副議長 △=監査委員(敬称略)

会派名	人数	会長	副会長	幹事長
日本共産党	2人	山口春美		岡本守正
公明党	2人	加藤厚雄		大竹敦子
みらいクラブ	2人	鈴木みのり		小池友妃子
市民クラブ	3人	石川輝彦	神谷 悟	杉浦文俊
碧政会	4人	杉浦哲也	◎新美交陽	小林晃三 △禰宜田拓治
志政会	9人	杓名 宏	鈴木良和	生田綱夫 林田 要 ○山中謙治 磯貝忠通 生田允夫 岩月 裕 藤浦伸介
		委員長	副委員長	委 員
総務文教委員会	7人	林田 要	小林晃三	大竹敦子 磯貝忠通 石川輝彦 山中謙治 鈴木みのり
福祉健康委員会	8人	杉浦哲也	加藤厚雄	岡本守正 鈴木良和 神谷 悟 生田允夫 岩月 裕 禰宜田拓治
経済建設委員会	7人	杉浦文俊	小池友妃子	山口はるみ 藤浦伸介 生田綱夫 新美交陽 杓名 宏
臨海対策特別委員会	7人	生田綱夫	岡本守正	小林晃三 藤浦伸介 岩月 裕 生田允夫 杉浦文俊



妊婦用アベノマスクに22万6千円 妊婦さんに月2枚、6カ月間毎月アベノマスクが市から送られます。4月13日に国から届いた中に汚れたものがあり回収。
今から毎月届きます。466億円の税金使って市では郵送料22万円。後手後手のコロナ対策。こんなことに市の職員を振り回さないで。

碧南市長 禰宜田政信 様

2020年5月15日
日本共産党碧南市議員団
山口 春美
岡本 守正

新型コロナウイルス感染症に関わる第4次申し入れ

新型コロナウイルスに対する「緊急事態宣言」が、5月14日愛知県を含む39県で解除されました。3月2日からの、小中学校への突然の休校以来、4月4日には碧南市民病院での感染者発生、院内感染によって12名が感染し、うち4名が死亡するという状況となりました。

日本共産党碧南市議員団は3月2日、3月11日、4月11日の3度にわたって、子どもの生活、公務労働者への給与補償、中小零細業者の廃業閉店を回避するための公共料金の猶予、減免無料化、医療介護労働者をはじめ医師が必要と認めた人への検査実施など、多岐にわたって具体的な市民の声と要求を届けてきました。

碧南市は、5月18日の臨時議会に補正予算を上程し、水道基本料金4カ月分の無料化などを実施されます。しかし、碧南民報サンデー版5月17日付けに掲載したように、西三河9市比較でも下水道基本料金無料化、学校、幼稚園、保育園の給食費無料化、保育料無料化、県の自肅協力金50万円の対象から、数日不足しているなどの理由で外された業者への市独自の協力金の支給などは、盛り込まれていません。

また、今回のコロナ対策で浮き彫りになったのは、日本の病院不足の実態です。取り分け感染病床は約9割が自治体、公立病院です。こうした中でも、安倍内閣は公的公立病院の再編統廃合を撤回しようとしていません。ねぎた市長は、無投票当選後の抱負を中日新聞で語り「2～3割の病床削減」と言葉にしています。まさに国以上の病院の弱体化をするというのでしょうか。

コロナ感染患者が出てしまった碧南市民病院で、命がけで働いている医師看護師はこの言葉をどう受け止めているのでしょうか。誠に残念です。

また、医療・介護施設などに働く人たちは、自身が陰性か陽性か抗体の有無はなど全く分からない状態で、働いています。一刻も早くこれらの方々に検査を実施すべきです。

以下国会議員団とも連携して、求めている各項目を実施し、関係各位に働きかけをしてください。

記

- 1、市独自の施策として、下水道基本料金の無料化、学校幼稚園保育園の給食費と保育料無料化、県自肅協力金の対象から外れた業者への協力金支給を行ってください。
- 2、「緊急事態宣言」外しは、検査件数が少ない中で冰山の一部で判断するもので、第2波への不安と危険性が指摘されています。ドライブスルー方式、唾液による検査、医療介護保育などで働く人への全員検査の実施を計画するよう国、県、保健所に働きかけをしてください。
- 3、国に公的公立病院再編統廃合の計画を撤回し、「コロナ」の経験から医療拡充を求めてください。
- 4、碧南市民病院での感染者、院内感染の経験を活かし、熱外来専用受付、感染非感染の動線確保など、リニューアル計画に直ちに反映し計画の早期促進完了を目指してください。
- 5、「患者のための碧南市民病院」を貫くことこそが、信頼関係を高め患者を増やし病院運営の好転への最大の力です。「赤字解消」を最優先にするのではなく、この原点に立ち切ってください。
- 6、「コロナ問題」で問われたのは「効率優先」の社会のありかたです。相手の思いやりなしにはコロナと対決する「連帯」はできません。
「費用対効果」「他市並み」の時代遅れの市政のありかたを根本的に見直ししてください。

以上

日本共産党碧南市委員会



市議会議員 市議会議員 市民運動部長
山口はるみ 岡本守正 磯貝明彦
☎42-8940 ☎41-5357 ☎48-2718
三度山町 2-70-4 笹山町 6-29 若松町 3-253

が亡くなった市民病院。だからこそ、危険と隣り合わせて働く病院スタッフを激励し、リニューアルを早期に進め、安全で快適な市民病院にすることが、市長の責務です。国や県に強力にもも言えず、赤字対策ばかりでは、市民も職員も納得は得られません。

**戦争法廃止・安倍改憲
発議許すな 19日行動**
6月19日(金) 午前11時～12時
ヤマナカ前にて

市独自のコロナ対策は不十分、 幼・保・小中学校給食費無料、 下水道料金、自肅協力金を

5月18日の臨時議会では、新型コロナウイルス対策の国や県、碧南市独自の施策への補正予算が可決しました。

日本共産党山口、岡本両議員は、事前の他市比較をもとに「他市がやるからシブシブ重い腰をあげた」とねぎた市長を批判。西三河9市で行っている、幼稚園保育園小中学校給食費無料化（豊田市、岡崎市、安城市、みよし市が実施）下水道基本料金無料（刈谷市が実施）県の自肅協力金から漏れた業者への市独自の協力金（岡崎市、安城市で実施）を、碧南市も行うよう質疑で指摘しまし

病院・介護施設・老人施設職員の検査を

日本共産党市議員団は、臨時議会に先立ち5月15日には、ねぎた市長に「新型コロナウイルス感染症に関わる第4次申し入れ」を行いました。1、市独自の施策の追加拡充。2、緊急事態制限外しにいたるには検査件数が少なすぎること。特に病院介護老人施設の職員に、検査を実施し陰性・陽性・抗体の有無を明確にすることを関係機関に

今こそ市民病院守れの大運動を

臨時議会の中で、ねぎた市長は「市民病院の赤字があつて、コロナ対策を躊躇した」とのべました。12人のコロナ感染者を出し、4人が亡くなった市民病院。だからこそ、危険と隣り合わせて働く病院スタッフを激励し、リニューアルを早期に進め、安全で快適な市民病院にすることが、市長の責務です。国や県に強力にもも言えず、赤字対策ばかりでは、市民も職員も納得は得られません。

求めること。3、公立病院つぶしをやめさせること。4、リニューアルに、感染非感染の銅線確保など教訓を生かし推進すること。5、赤字解消優先では市民病院も患者も守れない。6、費用対効果など新自由主義、効率優先のねぎた市政の在り方を大きく転換し、くらしと命を守る市政に。と求めました。

